

第 122 回 CIEC 研究会報告

テーマ：主体的な学びを評価する大学入試改革
～e-Portfolio の活用への期待と現状～

【実施概要】

実施日時：2020 年 1 月 5 日（日曜日）14：00-17：00

開催場所：聖徳学園 中学・高等学校

開催概要：

文部科学省は、変化の激しい時代において、新たな価値を創造していく力を育成するために、入学者選抜試験の方法や e-Portfolio の活用など高大接続改革が進めている。

前者の入学者選抜試験においては、『学力の 3 要素』（1. 知識・技能, 2. 思考力・判断力・表現力, 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）を育成・評価することが重要とし、英語 4 技能評価や記述式の問題が導入されようとしている。

後者では、学習活動を記録し、今後の学び・成果につなげていくためのふりかえりが主な活用となるが、蓄積した「学びのデータ」の中から成果を抽出することで、大学の出願等に利用可能となる。

本研究会では、後者の e-Portfolio にフォーカスし、活用の現状と今後の問題点について議論したい。

【タイムスケジュール】

14:00 - 14:05 【開会の挨拶】 武沢護（小中高部会・オープンエデュケーション部会世話人）

14:15 - 14:45 【講演】 e-Portfolio 活用の目的と現状 ～実際の活用と課題～
島崎綾太氏, 酒井智行氏（株式会社 朝日ネット）

14:45 - 14:55 【講演質疑応答】

14:55 - 15:25 【講演】 e-Portfolio 活用の目的と現状 ～高大接続の視点から～
江口悦弘氏（日経 BP PC メディア編集部 副編集長）

15:25 - 15:35 【講演質疑応答】

15:45 - 16:30 【ディスカッション】 武沢護

16:30 - 16:35 【閉会のあいさつ】

【研究会の内容】

○島崎氏・酒井氏から

テーマ「e-Portfolio 活用の目的と現状 ～実際の活用と課題～」

朝日ネットは、インターネット接続サービス、ASAHI ネットを主催・運営教育支援サービス manaba の企画・開発・販売している企業である。e-Portfolio 「manaba」とは、授業支援として、LMS 機能（お知らせ配信、講義資料の掲示、掲示板での質問、出席管理、クリッカー、小テストなど）や e-Portfolio の機能（交換留学の記録、インターンシップの報告書、ゼミ論文、研究成果、ボランティア活動の記録、開発したプログラムソースコードの記録など）を持っている。現時点での導入実績は約 90 校 66 万 2 千人である。

今後の課題として、大学教育の「質保証」すなわち授業料負担者である学生やその保護者に対して、また税金の負担者であり且つ高等教育修了後の人材の受入れ手である社会や産業界に対して、大学及び短期大学がどのようなサービス（教育）を提供し、最終的な結果として大学が授与する学位等に対して信用に足るものであるということ（どのような人材を輩出できるか）を保証することが挙げられると考える。



図1：manaba の一画面

○江口氏から

e-Portfolio 活用の目的と現状 ～高大接続の視点から～

江口氏からは2019年10月17日発行「日経パソコン 教育とICT 第10号」記事内容を踏まえて、2020年度の大学入学者選抜（入試）から導入が予定されている「JAPAN e-Portfolio」（JeP）について説明と現状の課題についての報告があった。このシステムは高校生が3年間の学習・活動の過程や成果をJePのポータルサイトに入力・蓄積しておき、大学の入学者選抜時に提出する仕組みで、入試改革と高大接続の一環とされ、全国の高等学校に対してeポートフォリオの蓄積が呼びかけられている。

しかし、その一方で様々な問題を抱えており、関連団体の問題、高校生の個人情報保護の問題さらにJepのセキュリティの問題、教育関連企業との共通ID使用の問題などいろいろな指摘があった。

さらに文部科学省は、2022年度をめどに調査書を全面電子化する計画で、この電子調査書システムとJAPAN e-Portfolioを一体運用する案が検討されている。

大学の入学者選抜では、AOや推薦などの総合的な選抜方法においてポートフォリオは必須の要素であろうが、失敗談も含めて生徒がどう努力して大学を目指したのか、どのような人間になりたいのかといったテストでは分からない部分がポートフォリオを見ることで分かるであろう。また生徒の側から見ると、一般入試に限らず多様な選抜方法の中から、自分のポートフォリオが評価される方式を選べるようになることが望ましい。真の大学入試の改革が期待される。

○質疑応答

- ・高等学校の現場にはJePの情報がほとんど来ていない。
 - ・実際に、受験生はどのような内容をポートフォリオに蓄積すればいいのか。
 - ・大学入試において「主体性」とどのように評価することができるのか。
- など。

以上